

山武市は宣言します!!

納税推進のまち宣言

山武市は、誰もが幸せを実感できるまちの実現を目指し、市民と行政が一体となって、まちづくりを推進しています。

納税は、市民の義務であり、まちづくりの根幹です。すべての市民が納税を正しく理解し、自主的に納付することで、住み良いまちはつくられます。

納税が市民の福祉を支え、わがまち発展の礎となることを強く確信し、未来のこどもたちの幸せに熱い思いを込めて、ここに滞納のない「納税推進のまち」を宣言します。

税金を大切に使うまち宣言

まちは、税金でつくられます。

その税金には、市民の汗と努力が込められています。

行政に携わる者は、常にこの事実を認識し、行動することが求められます。

未来のこどもたちの幸せのために、行政と市民は、それぞれの役割を果たし、税金の無駄遣いをなくすことに努めなければなりません。

この取組みが市の財政を健全に保ち、わがまち発展の礎となることを強く確信し、ここに「税金を大切に使うまち」を宣言します。

- 条例制定に伴う具体的な取組み
 - ・ 暴力団を恐れることにならないよう、市の事務及び事業から暴力団を排除します。
 - ・ 警察と連携しながら市民、事業者等に対して情報の提供、指導、助言その他の必要な支援を行います。
 - ・ 県と連携しながら、暴力団排除に関する広報活動の充実、学習の機会の提供その他必要な措置を講じていきます。
 - ・ 県と連携しながら、学校等にお

市では、市、市民、事業者その他の関係機関等の連携及び協力の下に、社会全体で暴力団の排除を推進するため、4月1日から同条例を施行しました。

また、市と山武警察署は、市の事務及び事業から暴力団を排除することを目的とした協定を締結し、連携強化を図っています。

基本理念

「暴力団を恐れないこと」、「暴力団に対して資金を提供しないこと」、「暴力団を利用しないこと」を基本理念とし、暴力団排除を推進します。

暴力団排除条例 を施行



一体となつて まちづくり

未来のこどもたちのために

宣言の後 どうするの？

山武市は、市民の皆さんと行政が一体となつてまちづくりを推進しています。

地方分権の流れの中で、国や県の補助金などに頼る依存から市税など自主財源を確保していく自立へと、行財政運営の考え方が大きく転換しました。

そのため、市税などの自主財源を確保していくことが、山武市の行財政運営の生命線となりました。

行政は、市民の皆さんのかつての結晶である市税を、大切に使います。

自主的な納付を

行政が適正な賦課や徴収を行うのはもちろんのこと、市民の皆さんが自ら納税を理解して自主的に納付していくことは、住み良いまちづくりのためには不可欠です。

大切に使います

行政は、市民の皆さんのかつての結晶である市税を、大切に使います。

健全な財政

つまり、未来のこどもたちの幸せに対して、私たち現世代は責任があります。

健全な財政

行政は、市民の皆さんと一緒に、税金の無駄遣いをなくします。

徴収強化と滞納解消

納税が福祉の増進やわがまち発展の礎となることを強く確信します。未来のこどもたちの幸せに熱い思いを込めて、納税します。

市税等の納付書の封筒に「納税推進のまち宣言」を印刷するなど、宣言文をお知らせしていきます。また、市税等の徴収強化プランを策定して、徴収強化と滞納解消を図ります。

納税によって住み良いまちは、つくられます。このまちづくりは、私たち現世代にだけ恩恵をもたらすものではありません。未来のこどもたちにも、同様の恩恵をもらし続けるものでなければなりません。

行政は、行動します。「未来のこどもたちの幸せ」という言葉からもわかるように、恒久的に節約節減と納税推進に取り組んでまいります。

コスト意識と透明性の確保

職員のコスト意識の徹底を図り、行政改革大綱に基づく行政改革行動計画を着実に実行し、節約節減に努めます。

また、行政と市民の皆さんが一体となつて税金の無駄遣いをなくしていくために、行財政運営の透明性を図り、市民参画しやすい環境を整備します。

固定資産（土地・家屋）縦覧帳簿の縦覧

問 総務課行政係 (80)1112

問 場 時 所
課税課資産税係

(80)
1282

いて、暴力団排除の重要性を認識し、暴力団に加入せず、暴力団員による犯罪の被害を受けないようにするための教育を行います。

